

7 次の英語は、あなたが見つけたイングリッシュ・カフェ (English Café) という催しのホームページの一部です。参加者が事前に準備すべきことを知るためには、この中の1から4のどの部分を読めばよいですか。最も適切なものを1つ選びなさい。

English Café

Free English Program

Date : Sunday, June 3rd
Time : 3:00 p.m. - 5:00 p.m.
Place : City Hall Restaurant

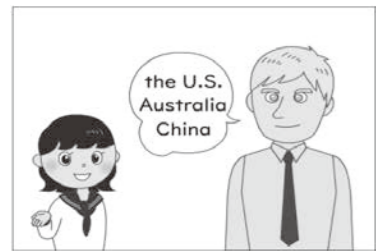
Come to English Café and ...

- You can enjoy speaking English with people from many countries.
-You can learn about their countries: the U.S., Australia, Canada, China, India
- You will have a chance to tell them about Japanese traditional things in English. Please think of something to talk about.
- We are going to have some food from other countries.
Of course, there will be Japanese food, too.
- If you have any questions about the program:
You can send an email to midori@××××.××, call 0120-□□□-□□□, or visit our office at City Hall.

●正答

2

大問2 あなたは、ナオミと、イギリスから来たリチャード先生の3人で話をしています。まず、ナオミとリチャード先生が、2人で話している場面から始まります。その後、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、英語で応じてください。解答時間は20秒です。それでは、始めます。



R: I want to visit three countries: the U.S., Australia, and China.
N: Why do you want to go to the U.S.?
R: Because I want to see a baseball game there. I'm interested in baseball.
N: I see.
R: And I want to go to Australia again.
N: When did you go?
R: Two years ago. It was a lot of fun.
N: Oh, I want to visit Australia.
R: Great!
(2人が画面の先の生徒の方を見る)
N: Well, do you have any other questions for him?

●正答例

Why do you want to go to China?

「話すこと」の問題は、学校のパソコンに音声録音の方法で行います。万全に準備をしても、まれに、調査中の停電や機器の故障等により、影響を受ける可能性があります。

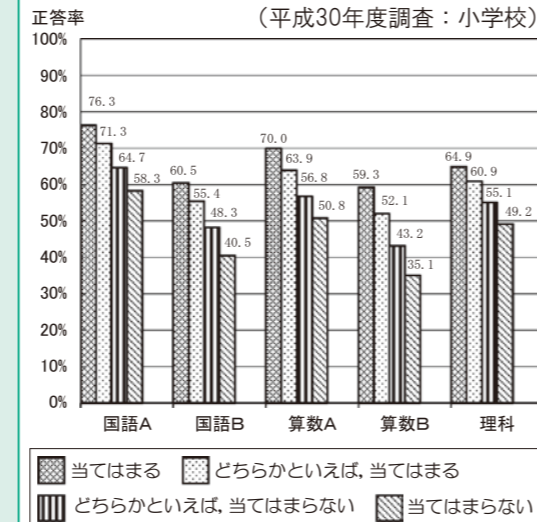
調査結果等の集計・分析・提供

集計・分析

- ◇国全体、各都道府県、地域の規模等における調査結果を公表
- ◇児童生徒の学習環境や生活習慣、学校における指導や教育条件の整備状況等と学力の関係を分析、公表

▼公表する調査結果の例

◇5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか



提供

- ◇各教育委員会、学校に以下の調査結果を提供
 - ・児童生徒の正答数分布図
 - ・問題別正答率・無解答率、類型別解答状況
 - ・質問紙調査の結果
 - ・各児童生徒に提供する「個人票」 など

▼「個人票」のイメージ

全国学力・学習状況調査

検索

文部科学省 HP
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm

国立教育政策研究所 HP
http://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html

全国学力・学習状況調査

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等(教育委員会、学校法人等)の協力を得て実施するものです。

調査実施日：4月18日(木)

調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

① 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

時間割

※ 国語、算数・数学の調査時間の変更：小学校 40分→45分、中学校 45分→50分に変更

◎小学校 (児童質問紙は、2時限目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。)

1時限目	2時限目	
国語(45分)	算数(45分)	児童質問紙(20~40分程度)

◎中学校(例：6学級の場合) (生徒質問紙は、3時限目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。)

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	6時限目
国語(50分)	数学(50分)	英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」(45分)	生徒質問紙(20~45分程度)等	英語「話すこと」(1組、2組、3組)	英語「話すこと」(4組、5組、6組)

※ 国語、数学、英語の順で実施。

※ 「話すこと」調査の所要時間は、生徒1人当たり10~15分程度(準備5~10分程度を含む)。

※ 学校規模等により「話すこと」調査の所要時間が5、6時限目で収まらない場合は、4時限目も「話すこと」調査の実施に充てることできる。

パン職人の声

「資料1」職業について書かれた本の「パン職人」のページ

焼き立てのパンが並び始めて

パン職人の仕事

（パン屋さんの一日）

- 5:00 パンの生地を捏ねる
- 7:00 パンの作り、焼き
- 11:30 パンの作り、焼き
- 14:00 翌日の天気予報を確認
- 17:00 翌日の生地作り
- 19:00 翌日の準備
- 閉店

朝5時からパン作り開始。7時の開店にやさ立てのパンを蒸べるために、朝5時からパン作りが始まります。前日に準備した生地をパンの形に包み、焼かすまで、焼き上げます。焼かすまで、焼き上げます。何種類ものパンを作るために、朝から大忙しです。パン職人は、これを毎日行っています。

気になる天気

パンの仕上げは天気や気温、湿度によって大きく左右されます。翌日の天気予報を確認し、生地の配合などを調整します。

（パン職人への道）

```

  graph TD
    A[① 中学校] --> B[② 高等学校]
    A --> C[③ 大学・短期大学]
    A --> D[④ 専門学校]
    B --> E[⑤ 助手として修業]
    C --> E
    D --> E
    E --> F[⑥ パン職人]
  
```

【資料1】職業について書かれた本の「パン職人」のページ

「パン職人の道」のページ

パン職人の仕事は、材料の分量や、焼く温度などをその日の天気や気温、湿度に合わせて変える必要があるなど、毎日同じように作るわけではないという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。

【資料2】職業について書かれた本の「パン職人」のページ

「パン職人の道」のページ

パン職人の仕事は、材料の分量や、焼く温度などをその日の天気や気温、湿度に合わせて変える必要があるなど、毎日同じように作るわけではないという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。

【資料3】職業について書かれた本の「パン職人」のページ

「パン職人の道」のページ

パン職人の仕事は、材料の分量や、焼く温度などをその日の天気や気温、湿度に合わせて変える必要があるなど、毎日同じように作るわけではないという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。

【資料4】職業について書かれた本の「パン職人」のページ

「パン職人の道」のページ

パン職人の仕事は、材料の分量や、焼く温度などをその日の天気や気温、湿度に合わせて変える必要があるなど、毎日同じように作るわけではないという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。

【資料5】職業について書かれた本の「パン職人」のページ

「パン職人の道」のページ

パン職人の仕事は、材料の分量や、焼く温度などをその日の天気や気温、湿度に合わせて変える必要があるなど、毎日同じように作るわけではないという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分らしくパンを焼くという。

スピーチの練習の様子

（1）

（2）

（3）

（4）

（5）

（6）

（7）

（8）

（9）

（10）

（11）

（12）

（13）

（14）

（15）

（16）

（17）

（18）

（19）

（20）

（21）

（22）

（23）

（24）

（25）

（26）

（27）

（28）

（29）

（30）

（31）

（32）

（33）

（34）

（35）

（36）

（37）

（38）

（39）

（40）

（41）

（42）

（43）

（44）

（45）

（46）

（47）

（48）

（49）

（50）

（51）

（52）

（53）

（54）

（55）

（56）

（57）

（58）

（59）

（60）

（61）

（62）

（63）

（64）

（65）

（66）

（67）

（68）

（69）

（70）

（71）

（72）

（73）

（74）

（75）

（76）

（77）

（78）

（79）

（80）

（81）

（82）

（83）

（84）

（85）

（86）

（87）

（88）

（89）

（90）

（91）

（92）

（93）

（94）

（95）

（96）

（97）

（98）

（99）

（100）

（101）

（102）

（103）

（104）

（105）

（106）

（107）

（108）

（109）

（110）

（111）

（112）

（113）

（114）

（115）

（116）

（117）

（118）

（119）

（120）

（121）

（122）

（123）

（124）

（125）

（126）

（127）

（128）

（129）

（130）

（131）

（132）

（133）

（134）

（135）

（136）

（137）

（138）

（139）

（140）

（141）

（142）

（143）

（144）

（145）

（146）

（147）

（148）

（149）

（150）

（151）

（152）

（153）

（154）

（155）

（156）

（157）

（158）

（159）

（160）

（161）

（162）

（163）

（164）

（165）

（166）

（167）

（168）

（169）

（170）

（171）

（172）

（173）

（174）

（175）

（176）

（177）

（178）

（179）

（180）

（181）

（182）

（183）

（184）

（185）

（186）

（187）

（188）

（189）

（190）

（191）

（192）

（193）

（194）

（195）

（196）

（197）

（198）

（199）

（200）

スピーチの練習の様子

（1）

（2）

（3）

（4）

（5）

（6）

（7）

（8）

（9）

（10）

（11）

（12）

（13）

（14）

（15）

（16）

（17）

（18）

（19）

（20）

（21）

（22）

（23）

（24）

（25）

（26）

（27）

（28）

（29）

（30）

（31）

（32）

（33）

（34）

（35）

（36）

（37）

（38）

（39）

（40）

（41）

（42）

（43）

（44）

（45）

（46）

（47）

（48）

（49）

（50）

（51）

（52）

（53）

（54）

（55）

（56）

（57）

（58）

（59）

（60）

（61）

（62）

（63）

（64）

（65）

（66）

（67）

（68）

（69）

（70）

（71）

（72）

（73）

（74）

（75）

（76）

（77）

（78）

（79）

（80）

（81）

（82）

（83）

（84）

（85）

（86）

（87）

（88）

（89）

（90）

（91）

（92）

（93）

（94）

（95）

（96）

（97）

（98）

（99）

（100）

（101）

（102）

（103）

（104）

（105）

（106）

（107）

（108）

（109）

（110）

（111）

（112）

（113）

（114）

（115）

（116）

（117）

（118）

（119）

（120）

（121）

（122）

（123）

（124）

（125）

（126）

（127）

（128）

（129）

（130）

（131）

（132）

（133）

（134）

（135）

（136）

（137）

（138）

（139）

（140）

（141）

（142）

（143）

（144）

（145）

（146）

（147）

（148）

（149）

（150）

（151）

（152）

（153）

（154）

（155）

（156）

（157）

（158）

（159）

（160）

（161）

（162）

（163）

（164）

（165）

（166）

（167）

（168）

（169）

（170）

（171）

（172）

（173）

（174）

（175）

（176）

（177）

（178）

（179）

（180）

（181）

（182）

（183）

（184）

（185）

（186）

（187）

（188）

（189）

（190）

（191）

（192）

（193）

（194）

（195）

（196）

（197）

（198）

（199）

（200）

（条件）

○「スピーチメモ」の中の「パン職人の仕事の苦労」と「パン職人の仕事の喜び」が広がるように書くこと。

○「資料2」の中の言葉や文を取り上げて書くこと。

○「スピーチ」にふさわしい表現で、八十字以上、百字以内にとめて書くこと。

○「スピーチ」の練習の様子」の「」に、別の言葉を書きなさい。

（1）

（2）

（3）

（4）

（5）

（6）

（7）

（8）

（9）

（10）

（11）

（12）

（13）

（14）

（15）

（16）

（17）

（18）

（19）

（20）

（21）

（22）

（23）

（24）

（25）

（26）

（27）

（28）

（29）

（30）

（31）

（32）

（33）

（34）

（35）

（36）

（37）

（38）

（39）

（40）

（41）

（42）

（43）

（44）

（45）

（46）

（47）

（48）

（49）

（50）

（51）

（52）

（53）

（54）

（55）

（56）

（57）

（58）

（59）

（60）

（61）

（62）

（63）

（64）

（65）

（66）

（67）

（68）

（69）

（70）

（71）

（72）

（73）

（74）

（75）

（76）

（77）

（78）

（79）

（80）

（81）

（82）

（83）

（84）

（85）

（86）

（87）

（88）

（89）

（90）

（91）

（92）

（93）

（94）

（95）

（96）

（97）

（98）

（99）

（100）

（101）

（102）

（103）

（104）

（105）

（106）

（107）

（108）

（109）

（110）

（111）

（112）

（113）

（114）

（115）

（116）

（117）

（118）

（119）

（120）

（121）

（122）

（123）

（124）

（125）

（126）

（127）

（128）

（129）

（130）

（131）

（132）

（133）

（134）

（135）

（136）

（137）

（138）

（139）

（140）

（141）

（142）

（143）

（144）

（145）

（146）

（147）

（148）

（149）

（150）

（151）

（152）

（153）

（154）

（155）

（156）

（157）

（158）

（159）

（160）

（161）

（162）

（163）

（164）

（165）

（166）

（167）

（168）

（169）

（170）

（171）

（172）

（173）

（174）

（175）

（176）

（177）

（178）

（179）

（180）

（181）

（182）

（183）

（184）

（185）

（186）

（187）

（188）

（189）

（190）

（191）

（192）

（193）

（194）

（195）

（196）

（197）

（198）

（199）

（200）

1 拓真さんと里奈さんは、学級の生徒がどのような長方形を美しいと思うかを調べることにしました。そこで、右のような、長さ5 cmの線分がかかれたアンケート用紙を学級の生徒33人に配り、それを1辺とする長方形をかくてもらいました。

二人は、集計した結果を下のようにまとめました。

調べたこと

長方形の分布（横の辺の長さ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
0	5	7	4	2	1	6	8	1	0	0

平均値 5.5 cm
中央値 6.0 cm
最頻値 8.0 cm
最大値 9.0 cm
最小値 2.4 cm

図1 長方形の分布（割合）

1.1	1.3	1.5	1.7	1.9	2.1	2.3
0	5	8	13	4	3	0

図2 先生たちの長方形の分布（割合）

1.1	1.3	1.5	1.7	1.9	2.1	2.3
0	4	5	7	3	2	0

このヒストグラムから、例えば、横の辺の長さが2 cm以上3 cm未満である長方形が5個かかれていたことがわかります。次の拓真さんのかいた長方形は、7 cm以上8 cm未満の階級に含まれており、里奈さんのかいた長方形は3 cm以上4 cm未満の階級に含まれています。

拓真さんのかいた長方形：7.6 cm, 5 cm

里奈さんのかいた長方形：3.1 cm, 5 cm

次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

(1) 拓真さんのかいた長方形の横の辺の長さは7.6 cmでした。学級の中で、拓真さんのかいた長方形より横の辺の長さが長いもののかいた人が多いのか、横の辺の長さが短いもののかいた人が多いのかは、7.6 cmをある値と比べることでわかります。その値が、下のアからオまでの中にあります。それを1つ選びなさい。

ア 平均値
イ 中央値
ウ 最頻値
エ 最大値
オ 最小値

(2) 里奈さんは、拓真さんの長方形を横にしてみると、自分の長方形と同じ形に見えると思いました。そこで、集計したすべての長方形について、長い辺の長さが短い辺の長さの何倍かを求めて、図1のヒストグラムにまとめ直しました。

図1のようにまとめ直すと、学級の生徒が美しいと思う長方形について、新たにどのようなことがわかりますか。わかることを、図1のヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

(3) 二人は、生徒と先生では美しいと思う長方形の形の傾向は異なるのではないかと思います。そこで、先生21人に対して同じアンケートをかくてもらい、先生がどのような長方形を美しいと思うのかについて、図1を参考に図2を作成しました。

図1と図2をもとに、二人は話し合っています。

里奈さん「図1と図2を比べると、1.5倍以上1.7倍未満の階級では、生徒の方が度数が大きいね。」

拓真さん「ということは、生徒の方がこの階級にたくさん集まっているといえそうだよ。他の階級でも度数を比べれば、その階級に生徒と先生ではどちらが多く集まっているかわかるね。」

里奈さん「でも、私たちの学級は33人で先生たちは21人で人数の合計に違いがあるから、階級の度数では比べられないのではないかな。」

同じ階級にたくさん集まっているのは生徒と先生ではどちらが多いかを比べるためには、どのようにすればよいですか。その方法を説明しなさい。

○正答

(1) イ

○正答例

(2) 学級の生徒が美しいと思う長方形は、その短い辺の長さに対する長い辺の長さの割合がだいたいひとまとまりになるものである。

(3) 相対度数を用いて階級を比べればよい。